

はじめに

このたび改訂しました『多賀城市防災ハザードマップ』は、最新の防災情報を反映し、新たな津波の浸水想定区域を掲載したハザードマップをはじめ、洪水・土砂災害の風水害、地震津波等に関する学習ページで構成されています。

万一の災害の発生に備えて、ご家庭や地域での防災活動にご活用下さい。

● 自助

自分(家族)の命は自分(家族)で守る。

この自助の考えのもと、日ごろ災害に対して備えたり、発災時には負傷せずに生き残ることが防災対策の基本となります。自分(家族)に応じた適切な判断で避難してください。

災害を乗り越えるためには

～自助・共助・公助の連携～

自助



自分(家族)の命は
自分(家族)で守る

危険だと思ったら、
避難情報などの発表を待たず、
早め早めに避難しましょう!

● 共助

自分が負傷せずに生き残れたら、地域・組織・グループの人たちと助け合うことです。災害時に円滑に助け合いができるように、日ごろから備えることが大切です。

共助



自分たち(地域・組織・グループ)は
自分たち(地域・組織・グループ)で守る

公助

● 公助

国、自治体、消防、警察、自衛隊などによる公的な救助・災害支援や復旧活動のことです。プッシュ型支援(避難所への水・食料の提供)、ライフラインの復旧、情報の収集と発信・伝達、避難所の開設などがあります。



行政機関
(消防・警察・自衛隊など)が守る

防災ハザードマップの構成

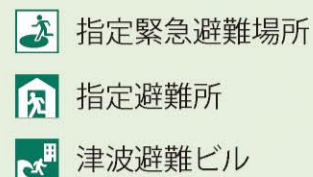
ハザードマップには①洪水・土砂災害、②津波の2種類があります。

風水害の場合	風水害についての情報 青色のインデックス	3～16ページ
	洪水・土砂災害ハザードマップ 青色のインデックス	17～24ページ
地震・津波の場合	地震についての情報 濃橙色のインデックス	25,26ページ
	津波についての情報 濃橙色のインデックス	27,28ページ
	津波ハザードマップ 濃橙色のインデックス	29～38ページ
その他の災害の場合	弾道ミサイル落下時・原子力災害発生時・石油コンビナート災害発生時 赤色のインデックス	39ページ
防災の知識	防災の知識 緑色のインデックス	40ページ～裏表紙

ハザードマップの使い方

ステップ 自宅・勤務先・指定緊急避難場所等の位置を確認しましょう

- ① 国道や県道の位置、学校や公共施設などの位置を参考に、自宅・勤務先・指定緊急避難場所等の位置を確認しましょう。



ステップ 危険な場所を確認し、避難経路を設定しましょう

- ② 自宅・勤務先等の周辺にある水路・橋や土砂災害警戒区域など、大雨のときに危険となる場所、古い家屋やブロック塀など地震のときに危険となる場所を確認しましょう。家族や地域の人と、実際に歩いて、大雨や地震のときに危険となる場所を避けた避難経路を設定しましょう。



ステップ 我が家の防災メモを記入しましょう

- ③ 普段から指定緊急避難場所を確認して、裏表紙にある「我が家の防災メモ」に記入しましょう。安否確認のために家族や知人、親戚などの連絡先を記入しておきましょう。



ステップ 風水害時のマイ・タイムラインを作成しましょう

- ④ 9ページの「風水害時のマイ・タイムラインを作りましょう」を確認し、記入しましょう。

ステップ 非常持ち出し品を準備しましょう

- ⑤ 43ページの「非常持ち出し品の準備」を参考にして、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。



索引

各マップは4枚構成になっています。お住まいの地区についてそれぞれ以下のページを参照してください。

地区名	洪水・土砂災害ハザードマップ	津波ハザードマップ
新田一区、新田二区、新田三区 山王、南宮、市川、浮島、城南	17-18ページ	31-32ページ
新田中、旭ヶ岡、留ヶ谷、伝上山、 隅田、向山、東能ヶ田、西能ヶ田、 鶴ヶ谷、丸山、黒石崎、下馬東、 下馬西、下馬南、下馬北、 笠神東、笠神西	19-20ページ	33-34ページ
高橋東一区、高橋東二区、 高橋南、高橋北、高崎、東田中、 東田中南、志引、八幡上一、 八幡上二、八幡下一、 八幡下二、八幡沖	21-22ページ	35-36ページ
大代東、大代中、大代西、大代北、 大代南、 桜木東、桜木中、桜木南、桜木北	23-24ページ	37-38ページ